

## 第1回府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会（要旨）

平成25年8月3日（土）

午前10時から正午まで

府中市役所北庁舎3階第6会議室

- 1 出席委員 23人
- 2 欠席委員 2人
- 3 事務局 政策総務部長 町田、政策総務部政策課長 古森、  
庁舎建設担当副主幹 茂木、庁舎建設担当主査 伊橋  
(株)日本設計 成田、佐藤、村瀬
- 4 傍聴者 1名
- 5 議事 依頼状の交付  
副市長あいさつ  
事務局紹介  
協議会の運営等について  
庁舎建設に係る経緯等について  
協議会の進め方について  
その他
- 6 資料 資料1 府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会設置要綱  
資料2 府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会委員名簿  
資料3 府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会の会議の公開等について（案）  
資料4 市民検討協議会のスケジュールとテーマ

## 【要旨】

### 1 依頼状の交付

茂木 本来であればお一人ずつ依頼状をお渡しすべき所ではありますが、時間の関係もあり、皆様の前に依頼状を置かせて頂きました。略儀ではありますが、これをもって依頼状の交付に代えさせていただきます。

### 2 副市長あいさつ

吉野副市長 府中市の庁舎につきましては、昭和 29 年の市政施行から 5 年後の昭和 34 年に現在の西庁舎を建設いたしました。その後、人口の伸びとそれともなう行政需要の増大に伴いまして、手狭となりまして、昭和 45 年に東庁舎（大國魂神社側）を建設、そして昭和 54 年に東西庁舎の増築を行いまして、昭和 62 年に最後でございますが、北庁舎を建設しまして現在に至っております。

また、この庁舎でございますけれども、他の地区をみますと、最も古い庁舎でありまして、災害時などにおける市民の安全安心を守る拠点としての機能や、執務空間の狭あい化による執務効率の低下、エレベーターやトイレ、通路など公共施設としてのバリアフリー対応など様々な課題を抱えているところであります。このたび委員の皆様には、平成 23 年度に策定しました、府中市庁舎建設基本構想や、府中市庁舎整備比較検討結果などに基づきまして、新しい庁舎における機能など、設計につながるために必要な具体的な方針を示す、基本計画の策定にあたり、たくさんのご意見を伺いたいと思っております。本協議会の委員皆様にとりましても有意義なものとなされ、実りあるものにしていただけると幸いです。50 年先 100 年先までも市民にとりましてもより良い庁舎が建設されますよう、様々な視点からの活発な意見交換をお願いしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 3 事務局紹介

#### 府中市職員の紹介

#### 日本設計の紹介

成田 府中市庁舎の基本計画を担当させていただきます、日本設計でございます。本プロジェクトの全体の取りまとめを致します、成田と申します。これからの府中市庁舎がどうあるべきか、府中らしい庁舎とはどういうものか、皆様方と一緒に考えてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

佐藤 日本設計の佐藤真紀と申します。よろしくお願いいたします。建築を担当して参りますが、皆様の今回の市民検討協議会では、皆様の意見が出やすいよう、自由な議論が生まれるような環境づくりを心がけていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

村瀬 建築担当の村瀬と申します。市民の皆様方にとって良い庁舎となるようお手伝いが出来ればと思っております。よろしくお願いいたします。

茂木 以上のメンバーで今後進めてまいります。

本来であれば委員の皆様のご自己紹介をお願いしたいところですが、時間の関係もございまして、後ほどグループ毎のディスカッションの中でそれぞれ簡単に自己紹介していただきますので、よろしくお願いいたします。

また、本検討協議会の委員について、お手元の資料 2 に委員名簿がございますので、そちらをご覧くださいと思います。

茂木 (※配布資料の確認)

(※吉野副市長は公務につき退席)

#### 4 協議会の運営等について

茂木 (※資料 1 参照)

- ・ 本協議会では、要項第 2 条の所掌事務で謳っている庁舎機能など、基本計画策定に関する事項のうち、特に市民の意見を反映させる必要がある事項について検討及び協議をし、その結果を市長に報告する。「特に市民の意見を反映させる必要がある事項」というのは、新庁舎を建設するうえで必要となる機能、例えばバリアフリーであったり、ユニバーサルデザイン、サインなどを指す。
- ・ 会議については、要項第 6 条で定足数が過半数に達していることで成立する事とあり、本日は出席委員が過半数に達しているため有効に成立する。
- ・ 設置要綱は委員数や検討協議会の運営方法が固まったため平成 25 年 7 月 31 日に内容の改正を行った。

(※設置要綱に関する質問は無し)

茂木 【依頼書の伝達について】

- ・ 依頼書は、市長から委員の皆様への依頼内容を示している。
- ・ 1 の依頼事項は、府中市庁舎建設基本構想及び府中市庁舎整備比較検討結果を踏まえ、庁舎建設に係る課題や意見、情報を整理しその検討結果を伝達する。
- ・ 2 の報告期限は平成 25 年 12 月 28 日。依頼事項について委員の皆様で意見を出しあい、期限までに報告内容をまとめていただく。

茂木 【検討協議会の公開等】

(※資料 3 参照)

- ・ 検討協議会などの会議内容は、府中市情報公開条例第 32 条第 1 項により、原則公開するものとしている。

(※資料 3 内容読み上げ)

- ・ 本日の開催も含め、今後の協議会資料・議事録については、市のホームページや市政情報公開室などに置いて公開する。

(※資料3について委員からの意見等が無い場合、資料3の内容で決定)  
本日の傍聴者について、特に委員からの発言がないため許可する。  
(※傍聴者入室)

## 5 庁舎建設に係る経緯等について

(※スライドを用いて説明)

伊橋 【市民検討協議会の設置目的について】

基本構想や比較検討結果等を踏まえて、整備手法・資金計画・仮設庁舎などの考え方を明確にして基本設計に繋がるような内容を整理していく。

【市民検討協議会と職員検討会の位置付け】

- ・ 市民検討協議会（17名+周辺自治会代表8名）と、職員検討会（35名）の総勢60名で行う。
- ・ 市民検討協議会と職員検討会はテーマや視点は別だが、それぞれの内容については都度報告をしながら、連携を図っていきたい。
- ・ 市民検討協議会で出た意見について、職員に聞いてみたいという場合や逆の場合など、機運が高まった際には市民と職員とが一同に介して議論をする場も想定している。

最終的な目標は、府中らしさのある「ふちゅうモデル」とした基本計画案を皆さんと創っていくことである。

【いままでの経緯】

H16新潟の中越地震をきっかけに、耐震改修促進法が改正され、それを受け、府中市においても市庁舎の耐震診断を行った結果、耐震性の欠如が判明し建て替えの検討がスタートし、H23年8月基本構想を策定した。

【庁舎の課題】

耐震性の欠如、施設設備の老朽化、維持管理費の増大、狭隘化による窓口環境の低下、バリアフリー対応への不足、分散の状況がある。耐震性の欠如については、Is値0.6を下回ると、地震に対して危険性があるが西庁舎および東庁舎に関しては一部0.6を下回っている。

【府中市庁舎建設検討協議会について 基本理念・基本方針・新庁舎の規模】

A案：現敷地で建物を建築する場合、B案：現敷地を拡張して建物を建築する場合という内容で技術的検討を行い、最も評価の高かったB-1-1案を進めていくことと考えているが、具体的な計画内容については今後の検討となる。

(※経緯についての質問無し)

## 6 協議会の進め方について

日本設計 成田 【プロポーザル方式とは】

6月に基本計画のプロポーザルが行われ、日本設計が特定された。

プロポーザルでは、府中の新庁舎を建設するにあたり設計者としてどのような考え

方で取り組むかということをご提案し、その提案が評価され、今回担当させていただくこととなった。

日本設計 佐藤 **【プロポーザルの提案について】**

プロポーザルは”設計者”を選ぶもので、”設計案”を選ぶコンペとは異なる。

緑をつなぐ府中市庁舎ということで、人や緑とつながる庁舎とする。愛着・安心・先進・象徴を基本理念に、検討を進めて行きたいと考えている。また中長期的な目線で計画を行うことで、限られた時間内に最大限の意見が盛り込めるよう進める。実施体制はバックアップチームがおり、組織的な設計事務所として最大限の能力を発揮し、全社的に良い庁舎となるようサポートをする。市民の方と職員との間の円滑な取りまとめを行う。市民と職員とともに考えるということで、合意形成体制の構成について提案した。ここで話し合ったことに関しては他の市民にも理解していただけるよう、わかりやすい資料等を発信する。

**【まちづくりと連携した庁舎】**

地域をつなぎ、周辺地域を考慮した庁舎を作りたいと考えている。庁舎の計画地は府中駅と府中本町の間位置する敷地であり、動線と通りからの顔ということを考えている。また、緑をつなぐということで、立派なけやき並木と大國魂神社の緑、府中崖線の緑など、これらをつなぐ計画としたい。

また将来につながるという視点から、使いやすく効率的な庁舎を目指す。市民検討協議会・職員検討会などで、実際使用する人の意見を取り入れ、使いやすいものとしていきたい。

**【今後の進め方】**

検討協議会の位置づけとしては、テーマ毎に皆様の意見を集約し、ふちゅうモデルという府中ならではの提言集をまとめる。そして、基本計画に内容を盛り込み、基本計画策定につなげる。

**【全体的な市民検討協議会の流れ】**

テーマ毎に一番初めに前回のおさらいをした後、今回の検討の流れを説明する。他市の事例を説明し、それを踏まえた上で気づいたことや意見をいただく流れとなる。この流れを繰り返し、ふちゅうモデルをまとめる。

出た意見等についてはホームページ等で周知する。検討協議会に参加していない市民の感想や意見については皆様に揉んでいただき、検討協議会の中で反映していく形が良いと考えている。

**【スケジュールについて】**

(※資料4参照)

テーマについては基本計画の段階で皆様に検討していただきたい項目を選択した。皆様の方から他にこの場で議論すべきものがあれば教えていただきたい。

2回目：府中だからこそ実現できること、府中らしさを具現化する提案について。

3回目：既存庁舎について利用者の目線で気づくことを感じていることを共有し、課題を見つける。

4回目：人の集まる施設とはどういう施設かを議論。

5回目：窓口をテーマとし、利用者目線での窓口のあり方について議論。

6回目：市民協働実現ということで、市庁舎に必要な物は何かという議論。府中駅前再開発ビルの中に市民協働スペースが設置される。駅前の施設と庁舎に設置する機能との役割分担が必要。

7回目：1～6回目までのまとめ。

**【検討協議会についての注意事項】**

1. お互いのことを尊重する。
2. 質問や提案は自由に
3. 相手の話をよく聞き、否定しない
4. 個人的な情報はこの場以外ではしないようにする

**【ワークショップの進め方】**

発表は、グループを代表してどなたかが発言する。全7回なので、それぞれの回で発表する人を変えると、誰もが一度は発表できる。

**【かわら版の見本】**

検討協議会に参加していない方でも、楽しめ、わかりやすい資料を作成する。

**【近隣の自治体紹介】**

- ①町田市庁舎
- ②立川市庁舎
- ③青梅市庁舎
- ④福生市庁舎

**委員 【質問 1】**

資料4の検討テーマの中で「待ち時間も楽しい庁舎」があるが、待ち時間を短縮するのが本筋ではないかと思う。一番頭に待ち時間も楽しいというのはおかしい。とにかく効率的であってほしい。優先順位が違うのではないか。

日本設計 佐藤 おっしゃるとおりで、待ち時間は無いほうが良い。目指したいのは、市民の活動が見られるようなところであったり、祭りの写真もあったりなど、待ち時間が気にならないということであった。当然、窓口で市民を待たせないということが第一であり、それは我々にとっても同じ考えである。テーマの表現を変更する。

**委員 【質問 2】**

休日開放するというのは窓口業務を行うということか。休日業務も希望している。

茂木 ここで言う開放するということは、窓口業務を行うことではなく、市民協働スペースであるとか、飲食休憩スペースなどのことである。

**委員 【質問 3】**

先ほど市民検討協議会と職員検討会で協議した内容のすり合わせを行ない、機会が

あれば一緒に議論する場を設けるとあったが、市民と職員それぞれの協議内容のすり合わせはどのようなところで行おうと考えているか。

茂木 市民検討協議会は庁舎を利用する側、職員検討会は庁舎で執務する側ということで別の視点で、それぞれの意見をいただき、まとめたうえで基本計画を反映させる。それぞれの検討会を進めていく上で、相互の意見を聞きたいといった場合には連携をとって進めることを考えている。具体的にどういう内容でということとは決めてはいない。

委員 職員検討会には有識者や関係団体の意見を聞くような絵になっているように見えるが、市民検討協議会では行わないのか。

茂木 市民検討協議会、職員検討会に関わらず、専門家の話を聞きたいという意見があれば、そういった方々の意見を伺いながら基本計画をまとめていく。

委員 【質問 4】

様々な自治体でワンストップが行われている。今回市庁舎を建設する場合に新しい窓口の業務形態とするのか、窓口の業務形態をどう新しくするかを決めて建物を計画するのか。

茂木 現在府中市では総合窓口課というのが1階にあり、ワンストップといえば総合窓口課で主に証明書の発行を一箇所ですませる形をとっている。今後、庁舎建て替えにおいて、関連性の深い部署を1階の近くにまとめておくことができれば、現在置いているような総合窓口課というものは必要なく、それぞれ近い部署があればひとつのフロアですべて済むという考え方もあるので、それは今後どういった建物になるかによって、部署の構成も考えていくということになる。

委員 建物が先ということか。

茂木 どちらかが先ということではなく、同時に考えていく。

委員 【質問 5】

プロポーザルは公開か非公開か。

茂木 プロポーザルは非公開であった。

委員 【質問 6】

再開発計画で5,6階の部分に市の機能が入るということだが、その話と今回の話は、全く関係ないのか。府中駅と府中本町駅をつなぐ役割を新しい庁舎に持たせるのであれば、当然、その再開発を含めた議論をしなければならぬと思う。今の話だとそれは別という話があったので、あまり念頭に無い感じを受けたが、そのあたりどう考えているか。

日本設計 佐藤 全く別とは考えてなく、市民活動サポートセンターや再開発機能を踏まえた考えを持っているので、合わせて検討していきたいと考えている。

具体的には、これから市と相談としながら進めるが、計画の内容については詳細に

聞いている。

委員　そこが具体的に決まらなないと、庁舎のあり方も決まらなのでは。一体と考えていかなければならないと思う。

古森　再開発ビルの中の市民活動拠点施設の活用方針が出ており、どういう機能がそこに入るというのはある程度決定している。先ほど、第6回市民検討協議会のテーマで市民協働実現における庁舎に必要なものということで議論していただくと説明があったが、市民活動の拠点施設が駅の近くにできるので、それ以外に市庁舎にはどういう市民サービスの機能が必要かということのを切り分け考えていただければと思う。重複してしまうということではなくて、仮に言えば再開発にはそういった機能が入るので、それ以外に市新庁舎でどういうものが必要かということのを議論していただく。

委員　再開発ビルの中に入る機能が決まっているのであれば、情報を出していただかないと、庁舎についての議論もできない。

古森　資料を用意し、次回までに皆様へ示したい。

茂木　再開発ビルの中の市民活動拠点施設に関する事は府中市のホームページで見ることができるので、参考にしていただければと思う。先ほど近隣自治体の庁舎の紹介もあったが、それぞれの自治体で資料等を公開しているので、時間がある方はご覧頂き、今後の参考にしていただきたい。

茂木　【グループ分けについて】

グループ編成は、年齢・性別・地域など偏らないようあらかじめ決めた。

日本設計 佐藤　【本日のテーマ】

ミニディスカッションということで、テーマを2つとした。1つ目は府中市のいいところ、よくないと思っているところ。2つ目はいつも使っている施設、気に入っている施設は何かということのを議論して頂く。

(※各テーブル毎に自己紹介を行いグループワークスタート 20分)

(※各グループの発表)

1G 発表　府中市の良いところは、生涯学習センターや中央文化センターなど公共施設が充実している点、大國魂神社や多摩川など、自然や緑に囲まれている点。

要望としては、府中本町駅東側のイトーヨーカドーが遺跡の発掘により建設中断され困っている。市役所近くに商業施設があれば賑わいも生まれるのでは。新庁舎で府中駅と府中本町駅とをつなぐとあったが、発掘された遺跡についてもつなげられるよう考えていければと思っている。

2G 発表　良いところは、公益施設が他市と比べて多く、使いやすく、低料金であること。

また、緑が多く是政から四谷まで田畑や水路などバランスよく構成されており、出来る限り残してほしい。例大祭は地域のつながりができる。府中市内には駅の数が多

く、便利。古い歴史と防災施設が管理されている。

要望としては、旧町名が変更となってしまう、寂しいという意見も出た。昔の名前も残してほしい。

いつも使っている施設は図書館や文化センター、生涯学習センター、体育館や北庁舎会議室、ルミエール府中。

3G 発表 良いところについて、緑が多いという意見が一番多かった。それに付随し、歩道が広い、道路がきれいという意見が出た。また府中市外へのアクセスが良いという意見も出た。

要望としては、けやき並木の車と人との分割が良くないという意見も出た。

よく使う施設も多く意見が出た。公共施設が多くでてきたのが印象的であった。映画館の他は公共施設で、市民聖苑、生涯学習センター、文化センター、グリーンプラザ、観光情報センター、公会堂、ルミエール、体育館やテニスコートなどが挙げられた。ただ、利用頻度に関しては年間1回の利用だとか、月1回の利用なので、頻度という軸で考えるとまた違ってくると思った。その他として、学生が遊びやすい、治安が良い、政治が安定しているなどがあり、こういった背景が施設利用を支えているのではという意見もあった。

私見として、市役所の一日の利用者がどの程度なのか、約25万人の府中市民に対してどれくらいの利用者数なのかということがわかれば、待ち時間などの問題解決にもなるのではないかと思った。いずれにしろ、何も用がなければ来ない施設なので、そういった部分をどうしていけばいいのかを考えなければならないと思う。

4G 発表 良いところは緑が多い、多摩川があるという点の他、有名な施設として競馬場や競艇場や小中学校がたくさんあるという意見が出た。証明書発行等の手数料が他市と比べて安いことや、下水道が完備されていることなど財政面での良いところも出た。ただ一方で財政が甘いという意見や、公共施設の管理運営に税金をかけすぎという意見、行政職員と市民との交流が少ない、情報公開されていないという意見も挙げられた。自分自身で協力したいという思いから、庁舎へ足を運ぶ回数が多いという方もいた。

緑が多いということだが、排ガスで緑が汚染されているという意見、中央にいろいろな施設が偏り過ぎ、生活の不便な地域があったり、外側に住んでいる人にとっては使いにくいという悪いところの意見も出た。

いつも使っている施設は、文化センターが一番多い。

日本設計 佐藤 初回とは思えないほど活発な議論をしていただきありがとうございました。練習と言いながらも貴重な意見が出ており、今回出た意見についても今後のテーマにつながるので、貴重な意見として提言の中に盛り込んでいきたいと考えている。

## 7 その他

(※全体を通しての質問)

委員 【質問7】

検討する項目についての資料や前回の資料を前もっていただけるか。

茂木 次回の検討協議会開催の案内時に、こういったテーマを考えているという趣旨を表記する。また、本日検討を進めた内容（議事録）を送るので、それについて何か意見があれば、次回の開催時にいただければと思う。

委員 発表の中で文化センターや聖苑などの公共施設が便利だという話があった。逆の見方をすると、それらは次第に経年劣化する。公共施設マネジメントの考えはわかるが、**現状が良いという市民の意見も多いので、その辺りを幅広い意見として理解してほしい。**